

だい かい  
第3回

ふじさわしがいこくじんしみんかいぎ ていげん  
藤沢市外国人市民会議 提言

(はじめに)

1. この提言は「やさしい日本語版」と通常の「日本語版」があり、「やさしい日本語版」はより多くの方が読むことができるよう、作成しました。
2. 提言の対象者は、藤沢市在住・在勤・在学の外国につながるのある市民です。
3. 第3回の提言は、情報が外国につながるのある市民にうまく届かないという課題から始まりました。第1回、第2回と引き続き同じテーマですが、継続的かつ、重要な課題です。  
今回は市が発信している情報を調べて、より具体的な改善を求めました。
4. 第2回(2019年度)の提言を提出後、「提言のフィードバック活動」を新しい活動として加えました。それまでは「提言活動」と「アクション活動」のみでしたが、「提言のフィードバック活動」は提言の実現に向けての委員の参加型活動です。  
そのはじめとして、2020年度から「ふじさわ多文化マップ」の作成に取り組んできました。(添付「ふじさわ多文化マップ2022」)

## I. 全体説明

外国につながるのある市民向けの情報がうまく届かないことがあります。

藤沢市外国人市民会議（以下：外国人市民会議）では、外国につながるのある市民がよく利用する情報媒体（ツール）を調査しました。

市が発信している情報媒体は、紙媒体とICT媒体の大きく二つに分かれます。

一方、発信元が市ではないSNSなどを通して情報を得ている人が多いこともわかりました。

そして、情報がうまく伝わるためには、二つの観点が必要と考え、話し合いました。

### 【よく利用する情報媒体】

- 紙媒体：「ふじさわ生活ガイド」、「広報ふじさわ」「日本語教室マップ」
- ICT媒体：「市のホームページ」「ふじさわメールマガジン」

### 【話し合った観点】

- 作り方の工夫
  - 掲載する順番と、やさしい日本語の活用
- 届け方の工夫
  - 時代に合う情報媒体の活用

II. ていげんないよう  
提言内容

し はっしん じょうほう かみばいたい ばいたい つく かた とど かた くふう  
市が発信する情報について、紙媒体と ICT媒体の作り方と届け方を工夫して、  
がいこく しみん じょうほう とど  
外国につながるのある市民に、情報が届くようにしてください。

つく かた とど かた くふう  
【作り方と届け方の工夫】

かみばいたい  
1. 紙媒体

つく かた くふう  
(1) 作り方の工夫

かいぜん もと  
①改善を求めるものについて

けいさい じゅんぱん  
■掲載する順番

じょうほう けいさい じゅんぱん きんきゅうせい さき けいさい  
情報を掲載する順番は、緊急性のあるものを先に掲載すること。

きゅうじつ やかん きんきゅうじ じゅしん びょういん ひなんしせつ ひなんばしょ  
(休日・夜間、緊急時に受診できる病院や、避難施設・避難場所など)

にほんご かつよう  
■やさしい日本語の活用

けいさい ぶんしょう かんたん ことば もち おな ないよう あらわ ことば ひょうげん  
掲載する文章は、簡単な言葉を用いる、同じ内容を表す言葉は表現  
とういつ じょうほうりょう も じすう すく とう にほんご  
を統一する、情報量や文字数を少なくする等、やさしい日本語になるよ  
う ころ ひと ふたん けいげん  
う心がけ、読む人の負担を軽減すること。

あら さくせい きぼう  
②新たに作成を希望するものについて

げんざい にほんごばん さくせい し ほっこう じょうほうしとう  
現在、日本語版のみで作成されている、市が発行する情報誌等をやさし

にほんごばん さくせい きんきゅうせい じょうほう じゅうよう  
い日本語版でも作成すること。また、緊急性のある情報や、重要な  
い べん と じょうほう けいさい たげんごばん さくせい ふきゅう にほんごばん  
イベント情報のみを掲載した多言語版を作成し、普及している日本語版  
には 二次元コード の たげんごばん しゅうち  
には二次元コードを載せて多言語版を周知するとともに  
いんたーねっと み  
インターネットからも見られるようにすること。

ふくさう げんご たげんごばん さくせい むずか ばあい えいごばん  
※複数の言語での多言語版を作成するのが難しい場合は、英語版（やさ  
しい英語）だけでも作成すること。

## 2. ICT<sup>ばいたい</sup>媒体

### (1) 作り方<sup>つく かた くふう</sup>の工夫

#### ① 改善<sup>かいぜん</sup>を求めるものについて

##### ■ 検索<sup>けんさく</sup>しやすい工夫<sup>くふう</sup>

知りたい情報<sup>し じょうほう</sup>を検索<sup>けんさく</sup>するための検索<sup>けんさく</sup>キーワード<sup>きーわーど</sup>を日本語<sup>にほんご</sup>（漢字<sup>かんじ</sup>やひらがななどの文字<sup>もじ</sup>）では入力<sup>にゅうりよく</sup>することが難<sup>むずか</sup>しいため、ローマ字<sup>ろーまじ</sup>でも検索<sup>けんさく</sup>できるようにすること。

(例：日本語教室<sup>れい にほんごきょうしつ</sup>→Nihongo Kyoushitsu ※本文<sup>ほんぶん</sup>やURL<sup>とうい</sup>等に入れる)

##### ■ 読み<sup>よ</sup>やすくする工夫<sup>くふう</sup>

文章<sup>ぶんしょう</sup>の一文<sup>いちぶん</sup>を短<sup>みじか</sup>くし、重要<sup>じゅうよう</sup>な部分<sup>ぶぶん</sup>は文字<sup>もじ</sup>サイズ<sup>さいず</sup>の拡大<sup>かくだい</sup>や文字<sup>もじ</sup>色<sup>しよく</sup>を<sup>へんこう</sup>変更<sup>へんこう</sup>する等<sup>とう</sup>目立<sup>めだ</sup>つように工夫<sup>くふう</sup>すること。

詳細<sup>しょうさい</sup>な情報<sup>じょうほう</sup>については、リンク<sup>りんく</sup>先<sup>さき</sup>に掲載<sup>けいさい</sup>していることがあるが、リンク<sup>りんく</sup>先<sup>さき</sup>がPDF<sup>けいしき</sup>形式<sup>けいしき</sup>の場合<sup>ばあい</sup>、翻訳<sup>ほんやく</sup>アプリ<sup>あぷり</sup>が対<sup>たい</sup>応<sup>おう</sup>できないことがあるため、重要<sup>じゅうよう</sup>な内容<sup>ないよう</sup>は、本文<sup>ほんぶん</sup>に掲載<sup>けいさい</sup>すること。また、スライド<sup>すらいど</sup>バナー<sup>ばなな</sup>で表示<sup>ひょうじ</sup>すると、途中<sup>とちゆう</sup>で切り替<sup>か</sup>わるため、読<sup>よ</sup>むのに時間<sup>じかん</sup>がかか<sup>ひと</sup>る人は読<sup>よ</sup>めないことがある。重要<sup>じゅうよう</sup>な内容<sup>ないよう</sup>は目立<sup>めだ</sup>つところに固<sup>こ</sup>定<sup>てい</sup>して掲載<sup>けいさい</sup>すること。

### (2) 届け方<sup>とど かた くふう</sup>の工夫

#### ① 新た<sup>あら</sup>に作成<sup>さくせい</sup>を希望<sup>きぼう</sup>するものについて

##### ■ 【生活<sup>せいかつ</sup>オリエンテーション<sup>おりえんてーしょん</sup>の映像<sup>えいぞう</sup>版<sup>ばん</sup>】

日本語<sup>にほんご</sup>や生活<sup>せいかつ</sup>に必要な<sup>ひつよう</sup>知識<sup>ちしき</sup>、公<sup>こう</sup>共<sup>きょう</sup>施設<sup>きょうしせつ</sup>などがよく分<sup>わ</sup>からない人<sup>ひと</sup>向けに、情報<sup>じょうほう</sup>の映像<sup>えいぞう</sup>版<sup>ばん</sup>を作成<sup>さくせい</sup>すること。

(例：引<sup>れい</sup>越<sup>ひ</sup>しの手<sup>こ</sup>続<sup>てつづ</sup>き、ごみ出<sup>だ</sup>し、防<sup>ぼう</sup>犯<sup>はん</sup>・防<sup>ぼう</sup>災<sup>さい</sup>など)

### Ⅲ. 実現に向けての目安

提言の実現に向けて、段階的な期間を次のように設定し、要望します。

#### 1. 短期的な提言：1～3年

- ・紙媒体について改善や新設を求めたもの
- ・ICT媒体について改善を求めたもの

#### 2. 中期的な提言：5年

- ・ICT媒体について新設を求めたもの  
「生活オリエンテーションの映像版」

### Ⅳ. その他

#### 【フィードバック活動について】

##### ■経緯

第2回の提言では、外国人コミュニティを調べ、外国につながるのある市民に必要な情報を記載した地図の作成を求めました。この地図の作成は外国につながるのある市民の協力なしでは実現が難しいという意見があったため、外国人市民会議の委員と市が共同して作成することになりました。

外国人市民会議の委員が自分とつながりのあるコミュニティを集め、市の情報とあわせて「ふじさわ多文化マップ」を作成しました。紙版とHP版があり、紙版は外国につながるのある市民が多く集まる場所への配架依頼等を計画しており、内容についても今後も改善を続けます。